

特別企画：新型コロナウイルス関連倒産動向調査（茨城県）

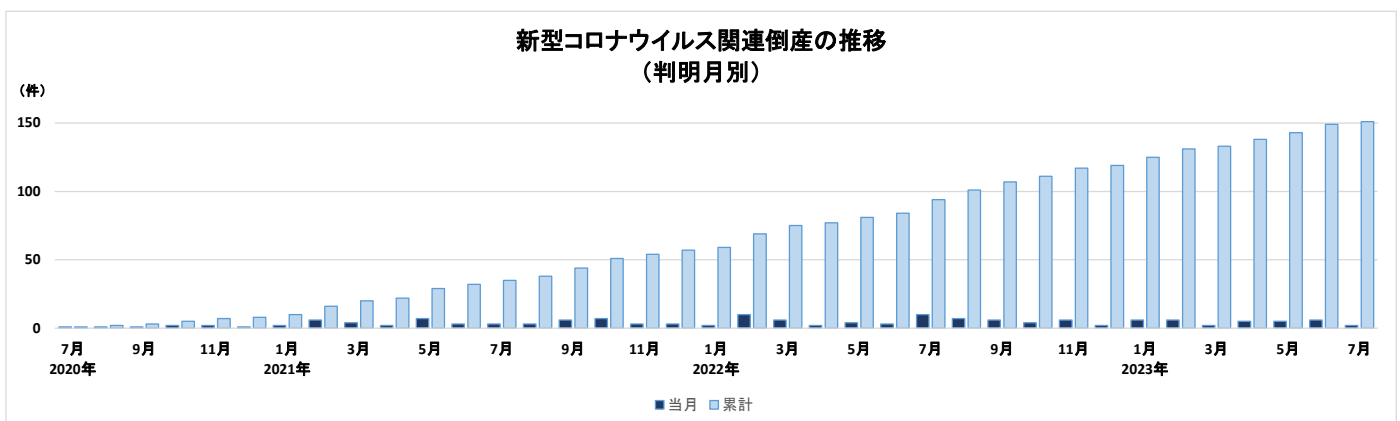
新型コロナウイルス関連倒産が 150 件を超える

～ 飲食店を含む「小売」が 42 件で最多、全体の 3 割近くを占める ～

はじめに

新型コロナウイルスの影響を受けた「新型コロナウイルス関連倒産」が茨城県で 150 件を突破し、151 件となった。2020 年 7 月に第 1 号事案が確認されてから 3 年余りが経過したが、「コロナ関連倒産」は依然として増加傾向を辿っている。

そこで、帝国データバンク水戸支店では 7 月 11 日までに県内で確認された新型コロナウイルス関連倒産を集計し分析した。



「新型コロナウイルス関連倒産」とは、新型コロナウイルスが倒産の要因（主因または一要因）となったことを当事者または代理人（弁護士）が認め、法的整理もしくは事業停止となったケースを対象としている（個人事業主、負債 1000 万円未満、法的整理申請準備中も含まれる）。

調査結果（要旨）

■ 7 月 11 日時点で新型コロナウイルス関連倒産は 151 件

2020 年に茨城県内で初めて新型コロナウイルス関連倒産が確認されてから 3 年余りが経過。2023 年 7 月 11 日までに関連倒産は 151 件カウントされている

■ 業種別では飲食店を含む「小売」が 42 件で最多

業種別では「小売」が 42 件で最多。そのうち、22 件が居酒屋など飲食店関連

■ 地域別では「県央」が 47 件、市町村別では「水戸市」が 33 件で最多

地域別では「県央」が 47 件で最多。以下、「県南」46 件、「県西」32 件が上位。市町村別では「水戸市」が 33 件。以下、「つくば市」14 件、「土浦市」10 件で続いた

1. 茨城県内の新型コロナウイルス関連倒産が 150 件に達する、 県内で初めて確認されてから 37 カ月連続で発生

月別件数

2020年7月、筑西市で畳材料の卸を手がけてきた（有）高橋忠三郎商店が事業を停止した。住宅構造の変化による畳需要の低迷、また高齢化等を理由に廃業する得意先も多く、同社の業績は低迷を余儀なくされていた。そこに、新型コロナウイルス感染拡大の影響で住宅着工の先延ばしや工期延長など、さらなる畳需要の後退要因が加わったことから事業の継続を断念。茨城県内における「新型コロナウイルス関連倒産」第1号となった。

その後の状況を月ベースでまとめたのが右の表である。「新型コロナウイルス関連倒産」は、2020年7月から37カ月連続で発生しており、2022年2月と同年7月には二桁台（各10件）を記録した。

2021年6月までの12カ月間に確認されたのは32件であったのに対し、2年目となる2022年6月までの12カ月間は52件、3年目である2023年6月までの12カ月間では65件発生、勢いは衰えず「新型コロナウイルス関連倒産」は時間の経過とともに増勢を強めている。なお、4年目となる2023年7月も11日時点ですでに2件発生している。

県内の主な「新型コロナウイルス関連倒産」（負債額10億円以上）は下記の通りである。

	当月	累計
2020年7月	1	1
8月	1	2
9月	1	3
10月	2	5
11月	2	7
12月	1	8
2021年1月	2	10
2月	6	16
3月	4	20
4月	2	22
5月	7	29
6月	3	32
7月	3	35
8月	3	38
9月	6	44
10月	7	51
11月	3	54
12月	3	57
2022年1月	2	59
2月	10	69
3月	6	75
4月	2	77
5月	4	81
6月	3	84
7月	10	94
8月	7	101
9月	6	107
10月	4	111
11月	6	117
12月	2	119
2023年1月	6	125
2月	6	131
3月	2	133
4月	5	138
5月	5	143
6月	6	149
7月	2	151

主な「新型コロナウイルス関連倒産」

商号	所在地	業種	負債額
(株)サンビック	つくば市	遊技場	25億円
(有)伸和	水戸市	遊技場	13億7000万円
あさ(あさ)川製菓(株)	水戸市	菓子製造	10億1000万円

2. 業種別では「小売」が42件で最多、そのうち半数以上が飲食店関連

業種別にみると、「小売」が42件で最も多い。以下、「建設」27件、「サービス」26件、「卸売」19件、「製造」16件、「運輸・通信」15件、「不動産」が6件で続いた。

「小売」だけで全体の約3割近くを占めた。「小売」42件のうち飲食店関連が22件となっており、「小売」の半数以上占める形になった。

業種別

業種	件数
建設(木造建築工事ほか)	27
製造	16
卸売	19
小売(飲食店ほか)	42
運輸・通信	15
サービス(遊技場ほか)	26
不動産	6

3. 地域別では「県央」が47件、市町村別では「水戸市」が33件で最多

地域別では「県央」が47件で最多。以下、「県南」46件、「県西」32件が続いた。市町村別では「水戸市」が33件。以下、「つくば市」14件、「土浦市」10件で続いた。

地域別

地域	件数
県北	13
県央	47
県西	32
県南	46
鹿行	13

市町村別

市町村別	件数
水戸市	33
つくば市	14
土浦市	10
日立市	8
牛久市	7
筑西市	7

まとめ

茨城県内で「新型コロナウイルス関連倒産」が初めて確認されてから約3年が経過。2023年7月11日までに県内では151件の関連倒産がカウントされている。業種別では「小売」が42件で最多、うち22件が飲食店関連であった。感染拡大による営業時間の短縮要請や外出自粛などが影響したものと思われる。

長引くコロナ禍で業績の回復が遅れ、また「ゼロゼロ融資」の返済本格化等によって県内企業を取り巻く経営環境は厳しさを増している。支援に依存してきた企業を中心に息切れ感、あきらめ感が広がりつつあり、「新型コロナウイルス関連倒産」はこれからも発生し続ける可能性が高いだろう。

【内容に関するお問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク 水戸支店(情報担当: 国分 信一郎)
TEL 029-221-3717 FAX 029-232-0272 MOBILE 080-7002-7189